

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2005-205082 (P2005-205082A)

【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【年通号数】公開・登録公報 2005-030

【出願番号】特願 2004-17152 (P2004-17152)

【国際特許分類】

**A 6 1 B 6/03 (2006.01)**

**A 6 1 B 6/06 (2006.01)**

**A 6 1 B 6/10 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 3 G

A 6 1 B 6/03 3 2 3 Q

A 6 1 B 6/06 3 3 0

A 6 1 B 6/10 3 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を前記体軸方向に支持する支持手段と、前記 X 線照射手段によって照射される X 線照射範囲から前記支持手段を退避する退避手段とを有することを特徴とする X 線 C T 撮影装置。

【請求項 2】

前記退避手段は前記支持手段を前記体軸方向から倒すことを可能とすることを特徴とする請求項 1 に記載の X 線 C T 撮影装置。

【請求項 3】

被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記 X 線照射手段の照射方向に対して略垂直な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を立位状態で支持しかつ前記被写体の体幹部の重心と下肢の重心とを結ぶ仮想線が前記回転軸に対して傾斜して支持する支持手段を有することを特徴とする X 線 C T 撮影装置。

【請求項 4】

被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段と、該回転手段の停止位置を入力するための入力手段と、該入力手段によって入力された停止位置に前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とする X 線 C T 撮影装置。

【請求項 5】

被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転さ

せる回転手段と、物体と前記 X 線検出手段との接触を検出する接触検出手段と、該接触検出手段によって前記物体と前記 X 線検出手段との接触が検出された場合に、前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とする X 線 CT 撮影装置。

【請求項 6】

前記 X 線検出手段から前記接触検出手段が取り外されているか否かを検出する着脱検出手段を有し、前記制御手段は、前記着脱検出手段によって前記接触検出手段が取り外されていることが検出された場合に、前記回転手段の回転軸を回転しないように制御することを特徴とする請求項 5 に記載の X 線 CT 撮影装置。

【請求項 7】

前記接触検出手段はグリッドを有することを特徴とする請求項 5 に記載の X 線 CT 撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するための本発明に係る X 線 CT 撮影装置は、被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を前記体軸方向に支持する支持手段と、前記 X 線照射手段によって照射される X 線照射範囲から前記支持手段を退避する退避手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明に係る X 線 CT 撮影装置は、被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記 X 線照射手段の照射方向に対して略垂直な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段とを備え、該回転手段は、前記被写体を立位状態で支持しかつ前記被写体の体幹部の重心と下肢の重心とを結ぶ仮想線が前記回転軸に対して傾斜して支持する支持手段を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

更に、本発明に係る X 線 CT 撮影装置は、被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段と、該回転手段の停止位置を入力するための入力手段と、該入力手段によって入力された停止位置に前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 6 】

本発明に係る X 線 C T 撮影装置は、被写体に X 線を照射する X 線照射手段と、前記被写体を透過した X 線を検出する X 線検出手段と、前記被写体の体軸方向に対して略平行な軸を回転軸として前記被写体を回転させる回転手段と、物体と前記 X 線検出手段との接触を検出する接触検出手段と、該接触検出手段によって前記物体と前記 X 線検出手段との接触が検出された場合に、前記回転手段の回転を停止させる制御手段とを有することを特徴とする。

## 【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 7

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

## 【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 8

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】

## 【 手 続 補 正 8 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 9

【 補 正 方 法 】 削 除

【 補 正 の 内 容 】